

徳の形は、小爪 利休形 鳴爪 サツマヤ形 長爪 法連

法連は下の輪カイに付て、上ヶ下ヶ自由なり、和州法連村にて初て造るが故名付るなり、

〔茶道要録^上法〕爐同縁之事

一五徳之事、居ヤウ座席ノ勝手ニ因テ各替リ有外爐ノ時ハ爪一ツ必ず上座ノ方ヘ居ル、我右カ左ノ方ヘ爲ベシ、内爐ノ時ハ、上座ノ拘リナク、爪一ツ向ヘ置也、風爐モ同然ナリ、風爐ノ五徳、大ヲバ前ノ方ヲ闕也、前土器ノ不支爲ナリ、小ヲバ此故ニ不闕、長爪ノ五徳ハ、爐ノ時雲龍ノ釜、緘桶ノ釜、其外小釜ニ用、爪長二寸二分アリ、又昔五徳ト云アリ、爪フトシ、

〔茶道筌蹄^三〕釜添品目

前土器 白 火色 利休形 原隻手造形 白火色 四品あり

〔茶道早合點^下〕前土器

火をふせぐために用ゆるかはらけなり、風爐の火間に立置、酷暑には二枚かさねても立る、

〔茶道要録^上法〕風爐之事

一前土器之事、圖アリ、火ヲ顯スマジキガ爲也、火氣ヲ押ユル故ニ、酷暑ノ節ハ二枚重テモ立ル也、冷シキ時ハ一枚ヲ下テ立ル、恒ハ一枚ヲ以テ高下見合有ベシ、歳若キ者ニ此土器上ヲ下ヘシテ、直ナル方ヲミセテ立サセタル事有、總ジテ春秋ハ火ヲ顯ハシ、夏ハカクス也、

〔槐記續編〕享保十七年八月廿日、夜參候、キリメヲ上ニスル土器ノコトハ、御流儀ニハコレナキコト也、二枚ガワラケハアルコト也、コレトモ異亂ナルモノナレバ慢ニセヌガヨキ也、二枚ガワラケト云コト、二様アリ、アトサキニ二枚タツルコトアリ、前ニバカリ二枚タツルコト、即兩方ニ大窓ナドアル風爐ニハ、アトサキニ二枚タツル也、前ニ二枚タツルコトハ、大風爐ニ大釜ナドカケテ、灰ヲヒクフスルトキニ、カワラケヲ高ク^ウコノヤウニモ乙コノヤウニモスルコトノ高也、シ